

過ごしやすい小春日和が続いていますが、クリスマス、年末年始とあわただしい時期もすぐそこです。

しばらくの間、おおみや教会通信ですべてのお知らせをすることになりました。

引き続きよろしく願いいたします。



<信徒委員会からのお知らせ> (11月7日付)

- 1) **司祭館の塀の修理**: 司祭館南側のブロック塀に亀裂があり、改修が必要となりました。費用は95万円で、工事開始は年明けを予定しています。
- 2) **地区割によるミサ**: 年内いっぱいA、B、Cグループのローテーションで行います。ご自分の地区グループを確認し、くれぐれもお間違いのないようお願いいたします。

Aグループ	大宮区、西・中央・桜区	12月6日、12月27日
Bグループ	見沼・緑区、北区	11月22日、12月13日
Cグループ	岩槻区、伊奈原市、蓮田、白岡・久喜	11月29日、12月20日

- 3) **信徒総会**: 今年の信徒総会を中止します。2021年予算案については、信徒委員会で承認された案を12月上旬にお知らせし、質問は個別にお受けします。
- 4) **来年度の信徒会長選出**: 自薦立候補のみお受けします。推薦は受けません。
- 5) **広報について**: 来年3月まで「教会だより」「たかはな」は休刊とし、「おおみや教会通信」を発行します。
- 6) **墓地の祝福**: 12月19日、谷神父様に大宮教会墓地の祝福をしていただきます。コロナ禍により出席は関係者のみといたします。ご了承ください。
- 7) **クリスマスミサ**: 12月24日18時、20時(2回)、12月25日10時(1回)各回とも参加申し込み制です。
応募多数の場合は抽選となります。(各回とも定員は77名)
参加申し込み詳細は連絡網とホームページ上でお知らせいたします。



以上

自粛の現実、そして変化。

大宮区 横山

コロナウィルスという言葉が日常にあふれる生活が当たり前になった今年は、今まで当たり前だった生活は全くできなくなりました。学生の身である私は、今は実家で暮らしており、直接生活に影響することは少なかったのですが、私のアルバイト先のドラッグストアでは、影響を受けているパートの方が少なからず見受けられます。

内定を頂いて4月から新生活を送る予定だった先輩は、入社式が8月まで延期になった為、アルバイトを続けることを余儀なくされました。また逆パターンで職場がコロナの影響を受け、退職せざるを得なくなり、就職先が見つかるまでアルバイトをしている人もいます。私はこのような現実を4月から目の当たりにしてきました。

コロナ禍で変わったことは実生活だけではありません。教会活動も形を変えました。例えば他の小教区から一つの教会に集まったの活動、キャンプなど移動を伴う活動は中止になりました。少し寂しい部分もありましたが、いのちを守るためには、そのような活動は中止せざるを得ないと思います。

一方で初めてオンラインで開催された活動もあります。例えばネットワークミーティング（以下 NWM）です。本来なら全国から青年が開催教区に集まり1泊で行う行事ですが、今年の NWM はオンライン上で開催されました。

事前に予定が記載された冊子が送付され、本来現地で行われるはずだったプログラムがその冊子に基づいて、オンライン上で進められました。今年の NWM には二つの「初めて」がありました。新潟と名古屋教区の合同開催と、オンラインでの開催です。

その為、プログラムも内容が盛りだくさんで、松井司教様と（NWM は叙階前でしたが）成井司教様のお話を聞き、黙想の後、オンラインミサに与って終了となりました。

NWM 以外にも、「えきゅぷろ」という教派を超えた活動にも参加しました。こちらもオンラインです。カトリックとプロテスタントの青年たちが共同で企画をし、分かち合いをし、ミサに与ります。想像がつかない方が大半だと思いますが、普段接点のない青年達と交流し、コロナにより変化した活動形態などの情報交換もすることができました。

このように青年会活動は、コロナという困難に遭っても、形を変えてこの1年も継続しています。当分の間はオンラインが主流となると思いますが、コロナ禍でも活動に参加でき、日常生活を送ることができていることに感謝しています。



わたしについて来なさい

大宮区 三上

NHKの火野正平さんの「心旅」というテレビの番組を見ている時、この原稿の依頼を受けました。コロナで何年も前の映像ですが、改めて自然の美しさと、そこに暮らす人々の素朴な営みを懐かしく見入っていました。

しかし今、私は本物の自然に触れる機会を失い、友と語り合い、食事を共にする事も許されず、神の家に行くことすら制限されてしまいました。

はたして世界中の人々が自己中心に傾き・・・祈りを忘れ、神の存在すらあやうくして、どの国の人々も神を見失ったかのように見える現代人に、神は何を求めていらっしゃるのでしょうか。

コロナ禍の苦しみがいつまで続くか、私達に分かるはずがありません。

「自分の十字架を背負って私に従いなさい」、主の言葉です。今、私はこの言葉を深くかみしめる毎日です。

.....

* 投稿を募集しております。FAX か郵送で受け付けております。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 カトリック大宮教会
おおみや教会通信係 ☎048-641-2935 FAX048-641-2724